

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

1 事業情報

担当課

上下水道総務課

実施方針	Ⅱ 安全・安心なくらしの実現	施策目標	1 浸水に対する安全・安心なまちづくりを推進します	施策	③ 浸水対策に対する情報提供による自助の促進
------	----------------	------	---------------------------	----	------------------------

2 事業評価の概要

視点	内容							
何のために【施策目標】	土地利用の変化や低い土地の形状などに伴い浸水被害が発生している地域では、引き続き、下水道(雨水)の整備に取り組みます。							
どんな問題を解決するか【施策】	浸水対策に対する情報を市民に提供することにより、市民一人ひとりの防災意識を高めます。また、市民に対し浸水情報を少しでも早く伝えられるよう、情報通信技術(ICT)を活用した情報提供について研究します。							
どのような道筋で【目標】(単年度)	浸水対策に対する市民一人ひとりの防災意識を高めるため、局のホームページなどを活用した情報提供を行います。							
期間	平成31年4月		～		令和2年3月			
いくらかけて【予算額・決算額】	予算額				決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	0	0	0	0	0	0	
	工事費	0	0	0	0			
	原材料費	0	0	0	0			
	委託料	0	0	0	0			
	賃借料	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
人件費	790	790	0	790	790		100%	
どういふ成果を達成するか【成果指標】	ホームページなどを活用した情報提供を行うことができた状態。							

3 プロセス結果の検証

評点	視点	内容					
中間評価 □	上半期何をどのように執行したか【現状把握】	川口市上下水道広報みずぐるま第65号に浸水対策について特集を掲載した。浸水対策についての研究を行った。					
62点	下半期改善すべき点は何か【改善目標】	台風前には川口市上下水道局HPのトップページに浸水対策について掲載するなど意識啓発を行う。情報収集の手段やホームページの内容を精査する。					
	どのくらい進んだか【進捗度】	執行(契約)事業費 予算執行率	0千円	事業進捗度	自己評価 評価者結果	B 予定通りの成果を上げた B 予定通りの成果を上げた	
終了時評価	どういふ成果を達成したか【達成状況】	台風19号への対応として、市内の浸水状況を把握するとともに、局内外を問わず情報の共有に努めた。また、休日夜間であったが職員が電話交換室において市民等からの問い合わせに対応し、適宜必要な情報の提供等を行うことができた。運営審議会において報告された東川口駅周辺浸水対策事業について、資料を市ホームページにおいて公開した。市内の浸水状況について、埼玉県と情報共有を行った。					
62点	次年度に解決すべき点は何か【次年度解決策】	引き続き情報収集の手段やホームページ等の情報発信の方法を精査する。					

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

4 改善経過の点検と評価

視点	項目	評点	5 常に全員	4 概ね多数	3 一部	2 あまり~ない	1 ほとんど~ない	中間	終了	
人員	意識	この事業による社会全体への貢献を職員は常に意識していますか？						3	3	
	適材適数	業務の適正に応じた柔軟な偏りのない業務分担を行っていますか？						3	3	
中間	13	成果	課の職員が事業の成果や目的を意識していますか？						4	4
終了	13	連携	この事業に必要な連携(局内・市長部局・委託業者等・県等)はできていますか？						3	3
手段	手段	目的達成に必要な手段や方法は、既成概念に囚われず、新たな視点で検討していますか？						4	4	
	可視化共有	目的達成に必要な手段や方法を、可視化し、情報共有していますか？						3	3	
中間	13	方法	当初計画や予定よりも優れた代替方法を検討していますか？						3	3
終了	13	目的化	この事業は、上位目的達成の手段として有効であることが、組織で理解されていますか？						3	3
工程	進め方	目的を達成する工程が、全体最適の視点から作られていますか？						3	3	
	合目的性	下水道使用者の視点に立ち、ニーズや利便性を反映した改善をしていますか？						3	3	
中間	12	学習	課題・問題点が発生したら、その都度、プロセス全体を検証し改善していますか？						3	3
終了	12	当事者意識	職員が主体的に行動していますか？						3	3
予算	利益	上下水道局の利益ばかりでなく、社会全体の利益まで意識していますか？						3	3	
	効果効率	より低いコストで成果をあげる工夫を施し予定以上の費用対効果を出していますか？						3	3	
中間	12	コスト検証	当初計画や予定よりも優れた代替方法による予算の効率的活用が常に検討されていますか？						3	3
終了	12	成果	成果指標を上まわっていますか？						3	3
期間	タイムマネジメント	工程を構造化したタイムスケジュールを可視化・共有し、停滞時間削減に取り組んでいますか？						3	3	
	タイムコスト	時間＝コストを意識し、ムリ・ムラ・ムダの検証を行っていますか？						3	3	
中間	12	期間の設定	業務集中を避け、局全体の事業執行を最適化するように期間を設定していますか？						3	3
終了	12	成果達成	短期間で成果を達成するよう、期間を検討し、進捗を確認、期間修正を行っていますか？						3	3

5 事後評価

指標				R1	R2	R3
指標名		単位	目標値			
算出式・根拠			実績値			
指標名		単位	目標値			
算出式・根拠			実績値			
指標名		単位	目標値			
算出式・根拠			実績値			
指標名		単位	目標値			
算出式・根拠			実績値			
指標名		単位	目標値			
算出式・根拠			実績値			
指標名		単位	目標値			
算出式・根拠			実績値			

視点	自己評価	評価根拠の説明(自己評価の根拠を具体的に記述します。不達成の場合は、原因、改善策を明示します。) A=予定以上の成果を上げた / B=予定通りの成果を上げた / C=成果は出ているが予定に達していない D=結果は出ているが成果は出していない / E=不十分な結果にとどまる、または結果が出ていない	評価者結果
達成度	B	台風19号発生時には適宜市内の浸水状況等を把握し、局内外で情報共有ができた。また、運営審議会において報告された東川口駅周辺浸水対策事業について、資料を市ホームページにおいて公開した。	B
効率性	B	台風19号発生時には、非常時ではあったが局内外で情報の把握や共有をすることができた。	B
有効性	B	台風等の際に発生する浸水について、情報収集や共有をすることにより、上下水道局の浸水対策に係る業務に寄与することができた。	B
説明責任	B	運営審議会において報告された東川口駅周辺浸水対策事業について、資料を市ホームページにおいて公開した。	B
組織学習	B	上下水道管理部の災害対策訓練として、電話交換室における市民からの問い合わせ対応の訓練を行った。	B
総合評価	B	台風19号発生時には、非常時ではあったが、円滑に情報収集や共有を図ることができ、市民への問い合わせの対応に活かすことができた。また、現在市が行っている浸水対策事業についても、運営審議会に報告された資料を市ホームページにより公開することができた。	B

次年度方針
現状維持で継続